

2019年2月8日

各位

会社名 NISSHA 株式会社
 代表者名 代表取締役社長 兼 最高経営責任者 鈴木順也
 (コード番号 7915 東証第1部)
 問合せ先 取締役専務執行役員 兼 最高財務責任者 西原真人
 (TEL. 075-811-8111)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2018年5月10日に公表いたしました2018年12月期(2018年1月1日～2018年12月31日)の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

2018年12月期通期連結業績予想数値の修正(2018年1月1日～2018年12月31日)

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 217,000	百万円 20,000	百万円 10,200	百万円 9,000	百万円 7,000	円 銭 138.92
今回修正予想(B)	207,400	17,300	8,000	7,300	4,300	85.34
増減額(B-A)	△9,600	△2,700	△2,200	△1,700	△2,700	
増減率(%)	△4.4	△13.5	△21.6	△18.9	△38.6	
(ご参考)前年同期実績 (2017年1月1日～12月 31日の連結業績)	193,481	15,100	4,004	4,936	2,681	56.51

(注) 前期は決算期変更により9カ月間(2017年4月1日から2017年12月31日)の変則決算となっているため、前年同期実績は前年同一期間である2017年1月1日から2017年12月31日までの業績を記載しています。

なお、EBITDAは、営業利益+減価償却費+のれん償却額としています。

修正の理由

売上高はデバイス事業における第4四半期の製品需要の急激な落ち込みなどにより想定を下回る見通しです。これに伴い、EBITDA、営業利益、経常利益は前回予想を下回る見通しです。

親会社株主に帰属する当期純利益は、これらの要因に加えて2018年9月4日に当社ウェブサイトでお知らせしました情報コミュニケーション事業再編の一時費用を計上した一方で、当該再編に伴う連結子会社株式譲渡益の計上は翌期(2019年1月7日)となることから前回予想を下回る見通しです。

以上